

令和3年度静岡県家族等支援事業

キックオフ研修をふまえて

静岡県による発達障害児者支援施策として、本年度ペアレントメンター養成及び居場所支援が実施されます。

事業実施に先立って、令和4年1月22日にキックオフ研修を開催しました。

本研修の内容をとおし、以下の内容を地域のみなさまと共有しながら発達障害児者支援の推進に努めていきたいと思っております。

○基調講演について

基調講演では、家族支援の重要性とともに、ペアレントメンターが地域の支援システムにどう位置付けられるべきかの基本的考え方について提起されました。

今後、各市町で実践が確認されているペアレントプログラムや親子教室との連動性や連携が欠かせないものです。

地域が主体的にペアレントメンターをシステムに位置付け、当事者・支援者・行政が一体的な支援体制を構築できるよう、県との協議をすすめながら体制整備を進めていきたいと思っております。

○シンポジウムについて

シンポジウムでは、各シンポジストから親目線、本人目線の実践を通じた地域づくりの必要性について共通理解を深めました。

ご本人や家族の支援を当事者家族の手弁当で作りに上げてきた時代、親の会の活動には、大変なご苦労がありました。一方で、自分たちで考えて動くこと自体が、親のエンパワメントになり、手間暇かけて支援活動をしてきた過程が人のつながりを生み、それが今の財産になっているという貴重なお話もいただきました。そこから生じるご苦労については、今後の持続可能な体制の必要性も認識されました。

県内には、発達障害の家族会が複数あります。これからメンターの養成者やメンターへのフォローなど家族会の役割は一層重要とされます。

家族会同士のネットワークが県内で構築され、そのネットワークと事務局、行政機関による協働的な体制づくりに努めていきたいと思っております。

今後の地域での体制づくりに関係各所のご理解とご協力を引き続き賜りますようよろしくお願いいたします。

令和4年2月

静岡県中西部発達障害者支援センターCOCO
(静岡県家族等支援事業事務局)

動画視聴の閲覧パスワードは、以下のとおりとなります。

0122

今後とも、本県の発達障害支援、家族等支援へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。